

# 轉

て  
ん

1  
2021  
Jan

# 教

ぎ  
よ  
う

新年のご挨拶 水谷日在導師

信のとびら

伝統と習慣

1月のご奉公のすすめ

1月のお寺の行事予定

11月のご奉公日誌

日晨上人から学ぶ 久野信友

今年度のご奉公テーマ「教化のすすめ」

自他安穩の道 神野照報

私のよろこび

娘に伝えたら

ねばりつよくていねいに

令和3年度年回忌一覧表

令和3年主要行事予定表

こどもたちの会

即聞即行



佛立本旨講妙應寺

モデル：パディくん（聞信寺）

# あげまして おめでとうございます

昨年はコロナウイルス蔓延まんえんによつて、三月からお寺の門を閉ざすという異常事態に陥りましたが、皆様のご理解とご協力のおかげで年末まで大過なくご奉公させていただきました。とが出来ました。

## 今年日は日蓮聖人御降誕八百年

さて、令和三年（2021年）は、日蓮聖人が承久4年（1222年）二月十六日に安房小湊でお生まれになつてから八百年を数えます。1185年に壇ノ浦の合戦で平氏が

滅亡して源頼朝による武家政権が誕生し、1333年に鎌倉幕府が滅亡するまでの約150年間は鎌倉時代です。このころは、政治上まことに不安定な時代だったことに加えて、地震、台風、飢饉、大火等々の災害が頻発ひんぱつしたのです。

日蓮聖人は仏教による解決をはかり、釈迦牟尼佛しやくかむにぶつの仰せの通りの法華経信仰を樹立すればこの世は浄仏じやうぶつ国土こくどとなり苦しみのない寂光浄土となるかと主張しました。

それから約百年後、門祖日隆聖人の手によつて、日蓮聖人の仰せ通りの信心は法華経本門八品所顯の妙法

を我も唱え他にも勧める菩薩行にあると、教義上からも明らかにされました。

その四百年後、僧侶の理屈によって信仰がゆがめられないよう、理屈抜きに妙法を唱える民衆の信心が、開導日扇聖人によって確立されたのです。

現在私たちが唱える妙法は、このような変遷を経て八百年もの間伝承

されてきました。これを途絶えることなく次の世代に伝承してゆくのは、先師上人方から我々に託されたご奉公です。

令和三年の元旦にあたって、新たな気持ちで信行相続に取り組もうではありませんか。

水谷信洋



# 伝統と習慣

昨年一年間は、新型コロナウイルスの影響で、日常生活も様々変化しました。お寺の行事もやむなく中止せざるをえない状況でした。そんな最中でもお講席を再開し、二階庫裡御宝前を活用し歓談の間を短くし、三密を避けてお席を続けてきました。このような状況の中、参詣が思い通りにできない方に何か出来る事は無いかと提案を頂きまし

た。そこで、テレビ電話で遠隔地の信者にも東京のお講風景を観てもらい、まとめてもらった体験談を参詣が出来る方や今後お講に参加して欲しい人に渡すなどして、互いの信心増進に活用していただきたいと思えます。お寺の行事も様変わりしましたが、皆さんの日常生活も様々な変化があったのではないのでしょうか？ 会社が

リモートワークに切り替わり通勤することが無くなる。日常的にマスクを付ける、アルコール除菌を必ずするなど色々騒がれて、新たな習慣になってきました。信者さんにもやはり影響がありました。お寺によく参詣していた方が外出を控える。毎月のご祈願やお礼や塔婆や回向を上げに来られなくなった方もいます。皆さんの続けてきたよい

習慣が今後も継続出来るよう  
対策を立てたいと考えていま  
す。

十二月一日のお総講で、お  
導師より年末のご本尊拝受御  
礼お講についてお話がありま  
した。懐中ご本尊や自動車ご  
本尊を、お席にてきちんとお  
ちり払いをして言上して頂く  
ものですが、近年そのご本尊  
をお持ちにならず本人も参詣  
しない形式だけのものに成り  
果てています。今一度、御本

尊への敬いや感謝を伝え直し  
ご奉公させてもらいましょ  
う。

また、月に四度お総講があ  
ります。月初め祈願総講。高  
祖、門祖、開導各聖人方のご  
命日に合わせて行っています。  
昔から伝統的にお総講に  
参詣される方がお賽銭を奉納  
していました。今現在、お賽  
銭の奉納者も激減したのは、  
次の世代にその習慣が伝わっ  
ていないのかもしれない。

参詣者に今一度声がけをし  
て、厳粛な気持ちで参詣させ  
て頂きましょう。

様々な伝統や習慣も時代の  
流れや環境によって変わって  
いくものもあります。伝え残  
してゆける良い伝統や習慣を  
みなで忘れないようにご奉公  
させてもらいましょう。  
2021年もよろしくお願  
いします。



# 1月のご奉公のすすめ

## 今年度のご奉公テーマ「教化」

開導聖人は「新婦入の初信の御人を深切におそだてください。御候」と仰せ下さっています。御本尊を奉安して御利益を感得したら、その新入信者が他に妙法

口唱の信心のけっこうさを勧めます。この繰り返して法が広まってゆきます。皆で協力して、教区内の教化後続者育成ご奉公をめぐしましょう。

## 今月の「随喜轉教」

「二年の計は元旦にあり」です。その手始めに「今年こそ！」という思いで「教化一戸成就」の祈願を立てましょう。また、正月は家族が集う場面も増え

るので、体験した信心の喜びをはなすとけっこうです。（家族に YouTube・日在メール・YouTube ホームページ HomePage 閲覧を勧めましょう）

## 二月の「ご奉公のポイント」

### 一、門祖会

2月28日**日**朝の勤行に併せて妙應寺門祖会が奉修されます。今年はその日のお参詣だけではな

く、その前週の「無事奉修祈願朝参詣週間」（2月21日**日**～27日**土**）を門祖会分散参詣週間と位置づけられます。この1週間は、

お掃除当番連合を中心にお参詣ください。（8ページ参照）

または、ご自宅でもインターネット経由でお参詣できるように準備いたします。

奉修費・御供米料・お花料は教区で取りまとめ2月14日**日**までに報恩の思い篤く寺務所にお納め下さい。

### 二、御降誕会総講

今年はお祖師様御降誕八百年の年。百年に一度の節目を感謝する御降誕会総講は2月7日**日**10時半より、高祖大士御命日総講に併せて奉修されます。参詣人数は2月24日**火**までに教区でまとめ受持ち講師に報告下さい。お祖師様の誕生日2月16日**火**の朝は各家庭の御宝前にもお赤飯をお上げして家族でお祝い

# 1月の寺内予定

日 程	行 事	時 刻
元日	⑤ 元旦会 六角堂初お看経 (代表参詣)	6時半 10時
1日～7日	開講本旨再興祈願 朝参詣週間	
3日	⑧ 初総講 (なお祝杯式、御導師への年始のご挨拶はありません) 教講初顔合わせ (今年はありません)	10時半
	日教上人御祥月御塔婆申込締切	
5日	火 教講御奉公始め (御奉公成就言上)	
6日	水 寒参詣開始	
9日	⑩ 運営会議	9時半
	事務局長候補者選考会	10時半
10日	⑪ 開講記念総講 (高祖大士御命日総講に併修) 授級褒賞「彰功の記」授与式 成人式申込締切	10時半
16日	⑫ 連合幹事会 後続者育成連絡会	中止 中止
17日	⑬ 日教上人御祥月法要 (開導聖人御命日総講に併修)	10時半
24日	⑭ 成人式	11時
25日	⑮ 門祖聖人御命日総講	10時半
31日	⑯ 開講本旨再興祈願口唱会 (第2地区、管理部) 若い人の口唱会 佛立本旨講初灯明料奉納締切 初御供米料奉納締切 寒供養奉納締め締切	中止 中止

しましょう。

### 三、令和3年度の役員申請

令和3年度の教区・連合・寺内役員を選出し2月末日までに申請願います。若い方や新しいご奉公者にもお役を受けて頂き後続者育成を実践しましょう。

### 四、令和二年度信徒講習会は中止しますが…

コロナ禍により本年度は講習会を開催出来ませんでした。

今年はインターネットを使った妙應寺チャンネルを作りました。ここで信行に関する様々なテーマを勉強することができます。

ご自宅にインターネットがない場合は、お寺で視聴できます。事務局にお問合せください。

# コロナ禍における新しい信行・ご奉公

## 七五三無事養育成長御礼言上式を

11月22日前後のワイド期間で

本来の年間予定表では11月22日

①に奉修予定だった七五三無事養育成長御礼言上式を、コロナ禍の今年は、1週間前の11月15日②から、都合のよろしい時にお寺に來ていただき、お子さん、お孫さんの無事養育成長のお祝いをしていただける対応をとりました。

同年代の子どもたちが一緒にお



参りし、お祝いできるという利点の代わりに、家族が揃って安心な時に御参詣出来るということが必要だと考えています。

要だと考えています。

### 門祖会も分散参詣で

2月28日③に奉修予定の門祖会は、前週の「朝参詣週間」を含めた期間の分散形式で朝の勤行に併修して奉修させていただきました。

期間中のお参詣当番は、2月21

日④豊島、22日⑤渋谷港、23日⑥

都中里、24日⑦目黒世田谷、25日

⑧西部、26日⑨品川、27日⑩かな

がわ各連合の皆さんです。

28日⑪当日は役中さんを中心にした代表参詣とします。

分散参詣の主眼は三密回避です。現在の本堂の最大参詣人数は64人程度です。コロナ禍でもより多くの方にお参詣いただくためにこの形式をとります。

### インターネットの活用

それでも、お参詣自体がコロナ感染を考えると心配という方もいらっしゃると思います。決して無理をしないで信行を進めるために、インターネットでのお参詣を推奨します。スマホを使う場合、画面が小さすぎます。そこで専用のケーブルを使ってご自宅のTVに映して大きな画面でお寺の様子を見ながら御看経をあげていただくこともできます。

技術的なことは、事務局にご相談ください。



# 令和2年11月行事報告

日 程	行 事
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間
1日	<span style="color:red">日</span> 開講本旨再興祈願総講を10時半より奉修しました
7日	<span style="color:blue">土</span> 運営会議を9時半より開催しました
8日	<span style="color:red">日</span> 団参・聞信寺（静岡）は中止しました 七五三参詣人数参加者申込締切
9日	<span style="color:blue">土</span> 信徒講習会は中止しました
13日	金 高祖大士御命日総講を10時半より奉修しました
14日	<span style="color:blue">土</span> 連合幹事会を中止し連絡事項はメール等でお知らせしました 後続者育成連絡会は中止しました
15日	<span style="color:red">日</span> 口唱会は中止しました 若い人の口唱会は中止しました
17日	火 開導聖人御命日総講を10時半より奉修しました
22日	<span style="color:red">日</span> 七五三無事養育成長御礼言上を11/15～30に行いました
25日	水 門祖聖人御命日総講を10時半より奉修しました 正副教区長会は中止し伝達事項は 班長会で行いました
28日	<span style="color:blue">土</span> 信徒講習会は中止しました
29日	<span style="color:red">日</span> 信徒講習会は中止しました

## 七五三おめでとう!



11月22日日朝の勤行に併修して、27名の七五三無事養育成長御礼が言上されました。

左は、当日御参詣された三家族。①NSさん姉妹 ③NAさん（以上当日10時半）、④Kさん（12時半）

# 苦難を乗り越えた経験



## ◇痛が見つかって◇

中里教区

Sさん

気が付いていたのですが、乳房のしこりをほったらかしにしてみました。専門病院に行くと、左に乳癌があると言われました。

Tさんが呼びかけてくださって、たくさんの応援祈願を頂きました。また、Tさんから、ご信心の改良を指摘されて、懺悔―改良「初心に振り返りご信心させていただく」をお誓いさせて頂きました。

手術中は5時間のお看経を頂きました。すると、抗がん剤もすることなく、転移も再発も致してお

りません。今でも、お綿を胸に当てています。

## ◇お題目が一番◇

目黒教区

Kさん

今の仕事に就いてからは、全くの病知らずで欠勤がありません。娘が犬をつれて来ると言う事でしたので、おかとうを作る事を全部

一気に、寝る時間も惜しんで頑張りました。それから、団地の掃除があり、食事が終わった所で、フラフラして、娘は血圧？と心配して薬を勧めたので、飲んで仕事に行きました。それでも、治らず、

通勤途中のバスの中で必死にお題目を唱えました。

仕事に行ったら、気持ち悪かったのも、目眩も無くなりました。やっぱり、お題目が一番と分かった瞬間です。

## ◇御法様に見守って

いただいた◇

所沢教区

Uさん

私は社会保険労務士ですが、その資格取得試験会場での話です。

5時間の長丁場の試験中、急に頭がクラクラして、そのまま机にうつ伏してじっとしていました。

10分程して頭を上げてみると「助かった」と思うと同時に、この10分間の口スは大きな致命傷。しかし、今回で3回目の挑戦。時間を忘れ一心不乱にやり進めると、何と試験終了時刻5分前に解答用紙

を全て埋めることができている。この苦境を乗り越えることができたのも、御法様がずっと試験会場で見守っていて下さったのだと思わずにはいられません。

福岡教区森川信子さんのご奉公による

## 「よろこびのお講席風景」より

11月の七つの連合の甲御講に福岡教区Mさんがリモートでお参詣。そして、お講席での懇談の様子、御導師からのご法門をまとめた「よろこびのお講席風景」を作られました。

Mさんは、その中で「本日は、応援参詣をさせて頂きありがとうございます。ございました。ぜひ、こうした、

東京の皆様、『お講席のよろこび』

を、お講のない地区の皆様へ、ご披露させて頂きたいと願っています。佛立本旨講信徒一同の『ご信心のよろこび』と心一つのお看經で、コロナ災禍の時代は乗り越えましょう」と語っています。

前頁の体験談は、その中から、轉教でもご紹介させていただいているものです。

### インターネット通信回線

#### 福岡教区



Line を使って福岡⇄東京をつなぎました

#### 本駒込和室



和室大型TV でMさん宅の様子を見ながら

## 娘に伝えたら

先日、私にとって一歩前進と  
思えることがありました。今ま

で、私だけがご回向とお塔婆を  
あげていました。それを改めて、

「ご回向は幸せのブーメラン」  
のパンフレットを娘に読んで見  
せて、お祖父さんとお爺さんの  
ご回向お塔婆をさせていた

と喜んでくれるよ、と勧めまし  
た。

すると、素直にご回向お塔婆  
の申し込み用紙に書いてくれま  
した。また、ご回向お塔婆をさ  
せていただいたら、お看経をし  
てご回向をきちんとさせていた  
だと、困ったことが起きても

### 千葉中央教区 Iさん

必ずお守りをいただくことができ  
るよ、と伝えました。

丁度、職場を去年の10月に変  
わっていたので何か困ったこと  
はないかと聞いてみたら、大切  
にされているよというので安心  
しました。

これからもご回向とお塔婆の  
ご信心の功德をいただいて信行  
相続のご縁が絶えないように励  
まさせていただけます。

## ねばりびよくとらねいぞ

### 大井大森教区 Yさん

本年1月にAさんが帰寂され  
ました。二代目の信者さんだっ  
たそうです。お墓も乗泉寺八王  
子別院にありました。

私が教区長のご奉公をさせて

頂いた15年前位より、教区の名  
簿ではAさんのお名前を確認さ  
せて頂いており、お住まいも近  
くでした。毎月の弘通会費等は、  
仕事場の関係で班長さんのIさ

ん宅へお持ちしていただいでお  
りました。

班長さんを通してお助行のご  
奉公を申し込みましたが、ご奉  
公が叶いませんでした。その後  
お寺が移転することにご不満を  
寺務所に電話されるようになり  
ました。教区長のWさんとは、



葬儀に際しこれで一軒減ります  
ことを覚悟しておりました。

ところが、教区長のWさんの  
丁寧なご奉公により「信行相続」  
が叶いました。その後15年ぶり  
の御講師のお助行ご奉公が成就  
いたしました。

さらに9月1日には御本尊お  
取り替え奉安のご奉公を成就い  
たしました。当日は、奥様、長  
女のお二人が御導師より拝受さ  
せていただきました。今月20日  
にも、またお助行させていただ  
く予定です。

今後は御宝前にご祈願をさせ  
ていただき、私達の主義、主張  
を通すだけではなく、相手の気  
持ちは大切に考えた、信行相続  
育成ご奉公に邁進させていただきます。



私は子どもの時から誕生日に  
は、本堂の献花をお願いして御  
法様に感謝する事を教えられて  
育ちました。

健康に恵まれまことにありが  
たいと思っております。御法様に  
感謝し、親に感謝し、それを形  
に表すことの大事を身に着けら  
れるようになりました。

これは曾祖父の代からの伝統  
で、大叔母さんにご両親の命日  
には感謝してご回向・お塔婆・  
献花奉納なさいます。私も大叔  
母を見習って感謝の心で暮らし  
ていきたいと思えます。

(多摩教区 Rさん)

## スマホ便利アプリ 紹介コーナー



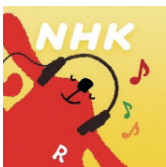
ラジオを聴くのに役立つアプリ  
災害時に限らず、日常生活で  
も役立つアプリですのでぜひ活  
用してください。

### ① 「らじるらじる」

いつでも、どこでもNHKラ  
ジオ第一・ラジオ第二・FM放  
送を聞くことが出来ます。聞き  
逃した番組も聞くこともできま  
すよ。

### ② 「Radiko」(ラジコ)

民放のラジオ番組を聴くには  
このアプリを導入してくださ  
い。タイトルは英語表示ですが  
中身は日本語です。



# 教化とは自他安穩の道

## 神野照報



教化とは、上行所伝の御題目を  
我も唱え他にも勧めて、現世安穩  
後生善処の御利益を頂かせる菩  
薩行です。諺にも「情けは人の為  
ならず」と言う様に、人の為に一  
生懸命尽くす教化の功德を、天台  
大師は「化の功己に帰す」と、そ  
の功德が自分に帰って来る、皆自  
分の功德となって御利益の因にな  
ると仰せです。

## 癌も克服したお教化の御利益

あるご信者の奥さんがステージ  
Ⅲの肺癌と診断され悩んでいた  
所、日尚上人より、夫婦協力して  
朝参詣や一日一万遍の口唱に絶り  
教化をしてごらん下さい。手術を

しても軽くすむか或いは消えるか  
もしれない、それは貴方の信行に  
懸かっていますよ。と勧められま  
した。

出来るのかとの不安を打ち消  
し、妻を助きたい一心で、教えら  
れた通りの信行に励み教化に努め  
ておりました。そんな時、ある方  
から電話で「父の認知が進み警察  
に保護される始末、施設の入居は  
何年待ち、どうしたら良いか」と  
相談されました。早速ご信心を勧  
めた処、助けて下さるならと教化  
が出来たのです。

入院当日に手術前の検査に長く  
待たされ不安で苦しくなった頃、  
漸く先生に呼ばれて開口一番「と

ても不思議だ癌が消えている。」  
と云う驚くべきお話でした。早速  
日尚上人に喜んで頂き教化子にも  
伝えた処、その方のお父さんも介  
護施設に入居出来る事になったと  
の喜びの声。

「翌日一緒にお礼参詣させて頂い  
た」とのお話の様に、お祖師様の  
教えは、我も唱え他にも勧める菩  
薩行であり、これこそ我も他の人  
も救われる自他安穩の道、この信  
心こそ一番御本意に叶った理想的  
な信心です。私達お互いも、自他  
共に安穩の御計らいが頂けます  
様、菩薩行に精一杯精進させて頂  
きましよう。



# 日晨上人より学ぶ

## 『此の道一途』

久野信友

日晨上人から折々に教えて頂いた信行に関するお話は幾つかありますが、その中でも特に忘れる事が出来ないお話があります。

それは、私がお寺の事務局のご奉公をはじめて間もない頃のある日、お寺にお帰りになった日晨上人が、机に向かって仏教書を読んでいる私の横をお通りになりました。「お帰りなさい」と挨拶いたしますと、日晨上人は「あゝ、先月から総務部でご奉公する様になった人だね。何か分からない事があつたら遠慮しないで何でも先輩に聞いて早くご奉公を覚えて下

さい」と声を掛けて下さいました。

そして私が読んでいた信徒教範をご覧になって「信心に関する事を勉強したいなら学徒会に入れば先生方が何でも教えてくれるからそうしなさい」と入会をすすめて下さいました。又御用が終わって庫裡へお帰りになるとき、再び私の所に立ち寄って下さり「先程私が学徒会に入ることを勧めたのは、お看経が喜んで上げられる様になるには学問が必要だと考えた

からですよ、私どもの信心は毎日お看経を忘れず続ける事が出来れば御利益でどんな問題も解決して頂けるのです。だから、お看経が喜んで出来る様になる為に学問がある事を忘れないで下さいね」と念を押してお帰りになりました。

その時の日晨上人の慈悲の一言がその後の私の仏道に対する大きな支柱になっています。それからの私は日晨上人の著書、ある角度からの10巻とその10巻の要点を一冊の本にまとめた日晨上人要語録を座右の銘として折にふれ拜見し改良させて頂いております。



# 令和3年 年回忌一覧表

第一回忌	令和二年 帰寂 (2020年)
第三回忌	平成31年 令和元年 帰寂 (2019年)
第七回忌	平成27年 帰寂 (2015年)
第十三回忌	平成21年 帰寂 (2009年)
第十七回忌	平成17年 帰寂 (2005年)
第二十三回忌	平成11年 帰寂 (1999年)
第二十七回忌	平成7年 帰寂 (1995年)
第三十三回忌	昭和64年 平成元年 帰寂 (1989年)
第三十七回忌	昭和60年 帰寂 (1985年)
第五十回忌	昭和47年 帰寂 (1972年)

## ご回向の心得

・高祖大士は、「げにも生たる時の情けは互いの事なれば還つて我が為なり。只なき跡のとふらいこそ實の志なれ。然るに生たる時は親しみ暈びて死にはつれば思ひも出さず。ましてとふらふ事なからんは更に人倫と云うべき様之無し。構へて構へて亡霊の菩提をとふらひ給ふべし。又化の功己に帰すの道理なれば亡者をとふらふも我身の為なり。所詮亡者の浮沈は追善の有無に依る也。此等の理を思いて自身も信心を催し六親(父母兄弟妻子)をも回向あるべし」と仰せです。(十王讚歎抄68頁)

・亡き後の追善回向は、お世話になつた方々に功德を送る菩薩行になります。お寺で塔婆を建立するのを家の習慣にしましょう。

### 日扇聖人御教歌

目に見えぬ物は皆うそなしといひて  
先祖の御霊祭りせざるや



# 令和3年 主要行事予定表



月 日	行 事 内 容
1月 1日(金)祝	元旦会 事教院六角堂初御看経
1月 3日(日)	初総講 (祝杯式は中止します。従って、御導師へのご挨拶はございません)
1月 6日(水)	寒参詣 ～2月5日(木)
1月 10日(日)	開講記念総講 (高祖大士御命日総講に併修) 授級褒賞「彰功の記」授与式
1月 17日(日)	日教上人御祥月法要 (開導聖人御命日総講に併修)
1月 24日(日)	成人式
2月 7日(日)	高祖御降誕会総講 (高祖大士御命日総講に併修)
2月 28日(日)	門祖会
3月 7日(日)	れんげまつり (高祖大士御命日総講に併修)
3月 20日(土)祝	春季彼岸総回向法要
3月 27日(土)	事務局御講
3月 28日(日)	団参 聞泉寺 (門祖会)
4月 18日(日)	日尚上人祥月法要・佛立本旨講創立記念式典
4月 29日(木)祝	立教開宗記念五時間口唱会
5月 23日(日)	蓮華会錬成会
5月 30日(日)	日歎上人祥月御命日法要
6月 20日(日)	開導会
6月 27日(日)	団参 聞信寺 (開導会)
7月 1日(水)	夏期参詣 ～7月31日(金)
7月 11日(日)	男性信徒御講
7月 18日(日)	夏季総回向法要
8月 22日(日)	くんげ会・蓮華会合同御講
8月 29日(日)	日晨上人御 37回忌法要
9月 5日(日)	竜の口御法難記念口唱会
9月 23日(木)祝	秋季彼岸総回向法要
10月 17日(日)	高祖会 (開導聖人御命日総講に併修)
11月 7日(日)	団参 聞泉寺 (高祖会)
11月 21日(日)	七・五・三無事養育成長御礼言上式
12月 5日(日)	蓮華会・くんげ会合同御講




















※ 各行事の奉修予定は変更になる場合があります。

※ このスケジュールデータをスマホのカレンダーに登録する方法をホームページでご紹介しています。パソコンとインターネット環境が必要です。



# ★こどもたちの会★

## ぞくもんぞくぎょう 「即聞即行」

<p>といた理解。</p> <p>それはそうかもしれない！ 悪い教でははない！</p> 	<p>⑥ 頭で聞く人は</p> <p>① お寺で御法門を 聴聞していたらー</p> <p>小悩んでいた問題の 解決策が見つかった！</p>  
<p>す本心にそつなんで と心から理解。</p> <p>毎日平穩無事なのは、 大切な事なのです!!</p> 	<p>⑦ 心に分かる人は 必難に於た経験を生かし、</p> <p>② 御法門で糸魚議な 力がありますよね</p> <p>私も自分の改善点に 気が付かされた事がありますよ!</p>  
<p>事守らるるに が本増えま</p> <p>と口癖の様に いる人です。自分 は</p> <p>ありがとう!!</p> 	<p>⑧ 身体で分かる人は は日々の無事を感じ 謝し、毎日</p> <p>③ 頭の分かる のを御法門聴聞と 言います。聴いて理 解しようとするにも</p> <p>と、何段かの奥行き があります。</p> <p>からだ身体で分かる</p> 
<p>それが「即聞即行」 なのね!</p> <p>つまり御法門の聴き方と は、頭で理解するだけでは なく身に行う為に聴くのです。</p>   	<p>④ 損の種まきか得の種まきか、私たちの場合とは異なる場 考えとは異なる場 合が多いものです。</p> <p>？</p> <p>？</p>  
<p>分かりました！ 明日もお寺参詣頑張りっ！</p> <p>知っている内容でも繰り返し 返し御法門を聞く姿勢が 大切です!</p>   	<p>⑤ た例えば「一日の無事を感じ謝す しながら生きる事が大切だ」と教 える御法門を聞いた事がある?</p> <p>聞いた事ある!</p>   

新年明けましておめでとうございます。

昨年は「新型コロナウイルス感染」と言う大変な事態に遭遇いたしました。いまだに、先が見えない状況にはありますが、私たちは、ご弘通ご奉公を停滞させる訳には、行きません。

2月には日蓮聖人のご生誕八百年をお迎えします。8月には繰り延べさせて頂きました、日晨上人御37回忌法要を奉修させて頂きます。

先師上人方の報恩ご奉公にお報いさせて頂くにも、前を向いてご弘通ご奉公に邁進させて頂きましよう。

本年もよろしくお願いいたします。



事務局長 山本久男

轉教

令和3年1月1日発行 第23巻第1号 通算251号  
編集兼発行人 山本久男  
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11  
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



[info@myooji.com](mailto:info@myooji.com)

題 字：水谷日尚上人